

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

平成28年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第13回講義

核技術の不拡散に向けた国際的な取組み

内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付参事官
室谷 展寛 氏

室谷先生からのメッセージ

5月27日、米国のオバマ大統領が広島を訪問し、核廃絶に向けた演説を行いました。その中で、人類に幸福をもたらすべき科学技術が争いのために用いられ、そして広島・長崎への原爆投下に至った歴史を振り返りました。大統領の演説は、核廃絶・不拡散の重要性に触れ、最後に「広島、長崎が核戦争の夜明けではなく、倫理的な目覚めの場として記憶されることへの期待」で締め括られました。大統領が訴えた、核兵器の廃絶、不拡散におけた国内外の取組については、日本国内では意外と知られておりません。このたびの講義で、核不拡散について皆さんと話し合ってみたいと思います。

日時：
2016年7月20日

水曜日

5講目 16:30-18:00

場所：

工学研究院

オープンホール

[B-201]

室谷展寛先生

北海道出身。札幌北高卒業後、東京工业大学(工学士)、ロンドン大学公共政策マネジメント(修士)。

1988年科学技術庁(現文部科学省)入庁。宇宙利用開発、科学技術政策、原子力政策、核不拡散政策、農業科学技術協力等幅広く科学技術政策に従事。国際経験も豊かで、経済協力開発機構(OECD)分析官、在フランス日本大使館科学技術アタッシェ、国際原子力機関(IAEA)保障措置局実施C部長(合計約12年間の海外勤務)を経験し、平成26年8月より現職

担当：工学系教育研究センター 渡邊康正教授
内線：6908 Mail：ceed-int@eng.hokudai.ac.jp